

FUKUOKA ECO AIRPORT

福岡空港環境計画 中間評価報告書



福岡空港エコエアポート協議会
(福岡空港エコエアポート空港環境部会)

目 次

1. 福岡空港の概要.....	1
2. 福岡空港環境計画の基本方針	3
1) 環境に対する背景.....	3
2) 空港環境計画策定の目標.....	3
3) 環境目標の設定の考え方.....	3
4) 実施方針の考え方.....	3
3. 福岡空港エコエアポート協議会の活動状況.....	5
1) 設置の目的	5
2) 協議会委員	5
4. 空港環境計画の進捗状況と中間評価.....	6
1) 評価の基準	6
2) 評価の対象とする範囲	7
3) 目標と施策の進捗度	7
4) 中間評価のまとめ.....	21
5. 目標の達成に向けての対策.....	23
1) 今後の課題	23
2) 目標の見直し（案）	24
資料	25

1. 福岡空港の概要

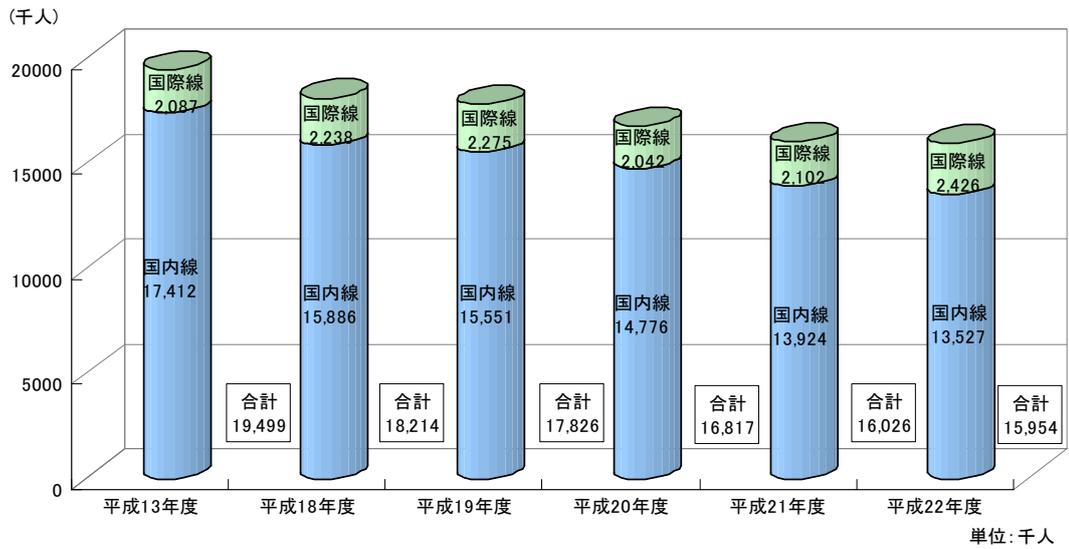
福岡空港は、西日本地域における流通・金融・商業の中心地である福岡市の中心部から約 7km の福岡市東南部に位置しており、西日本の中核的な拠点空港として、また、アジアへのゲートウェイとして、重要な役割を担っている。

福岡空港の歴史は、昭和 20 年、北部九州の防衛的基地として旧陸軍による 600 メートル滑走路施工からスタートし、戦後、板付飛行場として再スタートした。これを機に空港の整備事業も進み、高度経済成長期の 40 年代には本格化した。こうして福岡空港は空の玄関口として着実に発展し、今日に至っている。現在、福岡空港は国内線 24 都市 310 便/日、国際線 20 都市 370 便/週を有し、全てあわせると 1,595 万人（平成 22 年度）の旅客実績を持ち、我が国第 4 位の大空港と成長した。さらに、福岡の中心地、天神からわずか 10 分という好立地は世界でも例をみず、日本で最も利便性の高い空港としても有名である。

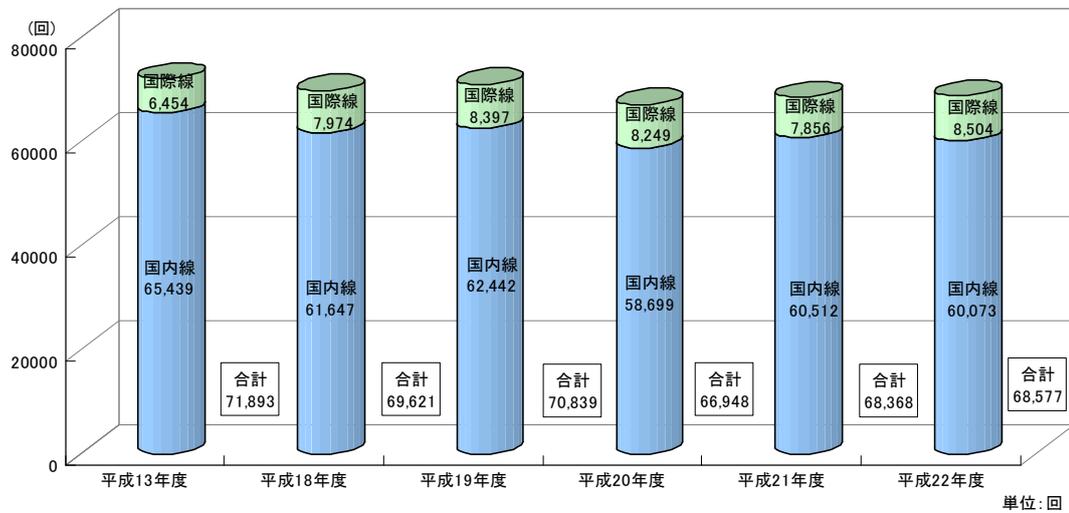
また、九州地域（国管理空港）の空港輸送の中で福岡空港の占める割合は、平成 22 年においては国内旅客が 48%、国際旅客が 88%、国内貨物が 64%、国際貨物が 96%と九州地域の拠点空港としての役割を名実ともに果たしている。



■ 福岡空港の全景



■ 乗降客数



■ 着陸回数

空港管理状況調書より

2. 福岡空港環境計画の基本方針

1) 環境に対する背景

地球温暖化、オゾン層の破壊といった環境問題は、21世紀の人類がその叡智を結集して対応すべき最大の課題の一つであり、これらを解決し、持続的な発展を遂げていくためには資源の消費を抑制し、排出物を削減した循環型社会を構築していくことが必要不可欠である。

このような認識の下、我が国では平成5年に「環境基本法」が、平成12年にはいわゆる「リサイクル関連六法」がそれぞれ制定される等、政府としてもこれら環境問題の解決に向けた取り組みを強化している中、空港に関連しては、平成12年9月に運輸政策審議会環境小委員会において、「循環型空港」実現の必要性が確認された。

また、平成14年12月の交通政策審議会航空分科会の最終答申において、環境対策として「さらなる空港と周辺地域との調和のある発展への対応のため、エコエアポートを推進する観点から、従来の周辺対策事業に加え、空港と周辺地域との連携、一体化を推進するための施策や循環型社会の実現等の要請に応じ、空港整備・管理運営に伴う環境負荷をさらに軽減するための施策を実施していく必要がある」とされ、空港における環境改善が強く求められるようになったところである。

2) 空港環境計画策定の目標

福岡空港には、航空会社、ビル会社を始め非常に多くの関係者が存在しているがこれまでそれぞれの立場で一部環境に対する活動に取り組んできた。

今後、これらの活動を更に実効あるものにし、かつ、効率よく実施するためには、関係者が一体となり活動を推進するための共通の目標を持つ必要がある。

このため、環境要素毎の目標、具体的施策、実施スケジュール等から構成される、共通の目標としての空港環境計画が策定された。

3) 環境目標の設定の考え方

福岡空港環境計画における環境目標の設定にあたっては、本空港の規模、立地、気候特性を考慮し、環境要素8項目について、発生・消費規模に留意する。

なお、目標の設定にあたっては、今後、省エネ診断を行うことも視野に入れて設定していく。その際、実効性を勘案して、可能な限り数値目標を設定する。

4) 実施方針の考え方

(1) 目標年度

- ・平成25年度（2013）を目標年度とする。
- ・ただし、空港を取り巻く環境の変化や施策の技術動向等を勘案し、必要に応じて見直すこととする。

(2) 具体的施策及び実施スケジュール

- ・ 目標年度同様、必要に応じて見直すこととする。
- ・ 策定された空港環境計画の施策の実施にあたっては、緊急性、早期実施の可能性、他の施策との連携等を考慮の上、短期目標（短期間で計画、実施可能なもの）、および長期目標（計画、実施にある程度の期間を必要とするもの）に分類した。

(3) 評価及び公表

- ・ 協議会は、毎年、空港環境計画の実施状況及びその評価を「〇〇年度環境レポート」として公表する。
- ・ 協議会は、平成25年度（2013）に「福岡空港環境計画」実施完了後の成果について、最終目標に対する評価を「評価報告書」として公表する。
- ・ なお、本報告は計画策定の5年後に、最終目標に対する進捗度を中間評価したものである。

3. 福岡空港エコエアポート協議会の活動状況

1) 設置の目的

空港環境計画の実施にあたっては、関係者の理解と協力に基づく総合的な環境問題への取り組みが必要なことから、本空港の管理者が中心となり福岡エコエアポート協議会を組織するものである。

2) 協議会委員

エコエアポート協議会（エコエアポート委員会）の構成員は、以下のとおりである。（順不同）

- ・ 大阪航空局福岡空港事務所
- ・ 九州運輸局交通環境部
- ・ 九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所
- ・ 門司税関福岡空港税関支署
- ・ 福岡市交通局
- ・ 福岡空港ビルディング(株)
- ・ (株)エーシーピー福岡空港支店
- ・ 福岡インフライトケイタリング(株)
- ・ 第七管区海上保安本部福岡航空基地
- ・ 全日本空輸(株)福岡空港支店
- ・ 日本航空(株)福岡空港支店
- ・ 福岡県空港対策局
- ・ 福岡市経済振興局
- ・ (独法)空港周辺整備機構福岡空港事業本部
- ・ (社)福岡県バス協会
- ・ (社)福岡市タクシー協会

(平成24年3月現在)

4. 空港環境計画の進捗状況と中間評価

1) 評価の基準

空港環境計画の評価については、計画策定時に定めた環境要素（大気、騒音・振動、水、土壌、廃棄物、エネルギー、自然環境、その他）ごとに掲げた目標に対する進捗度を、以下のように3段階に分けて評価した。

■ 目標の評価基準

評価の視点	評価
目標の達成に向かって着実に進捗している	A
基準年（平成 18 年度）の状況とあまり変化がない	B
基準年（平成 18 年度）の状況から悪化しつつある	C

また、各環境要素における具体的な施策については、設定方法の違いにより2つのタイプに分類し、それぞれの評価基準を以下のように設けた。また、進捗状況については、5段階に分けて評価を行った。

■ 施策の評価基準

	評価の区分	
	評価の視点	評価
タイプⅠ 増加、減少や 現状維持を 目指すもの	目標を達成した、あるいは目標の早期達成が期待できる	5
	順調に推移している	4
	遅れているが進展している	3
	目標から遠ざかっている	2
	目標達成に向けてほど遠い	1
タイプⅡ 行動自体が 目標の達成 となるもの	目標を達成した	5
	順調に推移している	4
	遅れているが進展している	3
	目標から遠ざかっている	2
	目標達成に向けてほど遠い	1

2) 評価の対象とする範囲

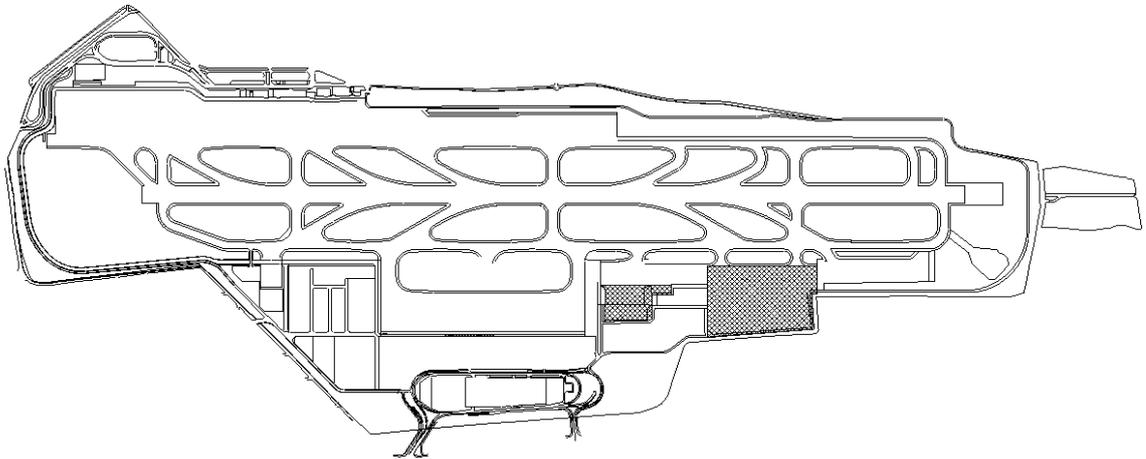
空港は、その地区・地域における交通の結節点であり、その地区・地域間の交流のシンボルゾーンであるという考え方にたち、空港内に最重点をおき、以下のように設定した。

(1) 対象となる活動範囲

- ・ 対象としては、空港内のすべての活動（人、航空機、車、各種設備の稼働等）とする。
- ・ ただし、空港関連の建設工事は、一過性のものであり最終目標対象に直接リンクするものではないことから対象とはしない。しかしながら、工事実施に当たっては、環境に対する影響が最小限になるよう配慮する。

(2) 対象となる区域

- ・ 空港環境計画の活動の対象となる区域は、福岡空港の用地範囲を原則とし、米軍および防衛庁施設は含まない、下図を参考とする。



■ 主な対象範囲
（▨） 部分は除く

3) 目標と施策の進捗度

環境レポートのデータや協議会の各事業者から収集したアンケート調査結果に基づき、平成22年度における環境要素ごとの目標と施策の進捗度を整理する。

(1) 大気

● 目標

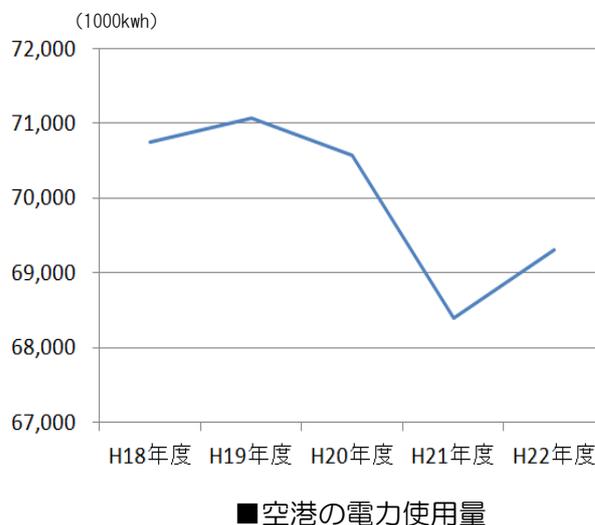
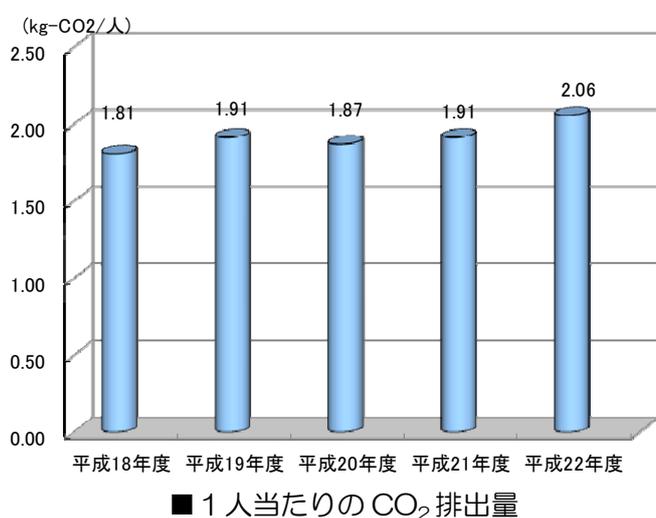
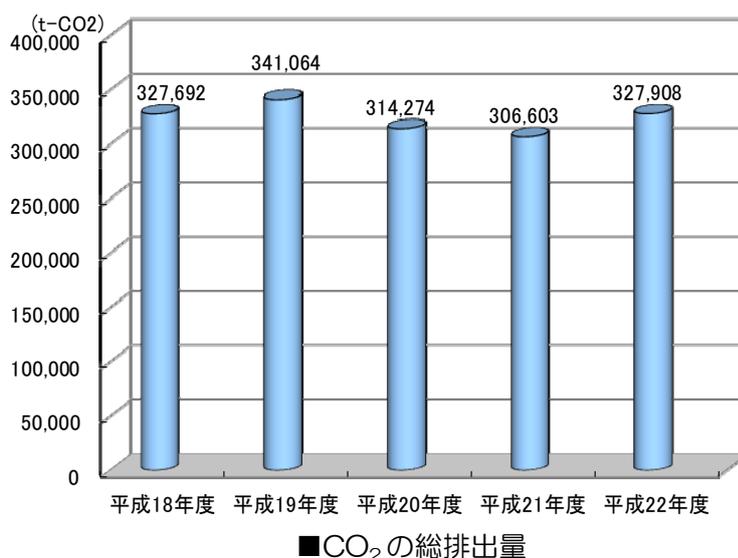
【旅客 1 人当たりの CO₂ の排出量を着実に抑制する】進捗度：B

大気目標である【CO₂の排出量を着実に抑制するは、初年度の平成 18 年度の 1.81kg-CO₂/人から増減を繰り返し、平成 22 年度には 2.06kg-CO₂/人に増加している。

CO₂ 排出量のうち、大半は電力消費に伴うものだが、空港の電力使用量は着実に減少傾向にある。しかし、環境省が毎年発表する CO₂ 排出係数(電気事業者による販売電力量あたりの CO₂ 排出量を示す係数)が、平成 18 年度に比べて平成 22 年度は高くなっている。(火力発電による電力供給の割合が増加したため。)

また、乗客数も平成 18 年度に比べて平成 22 年度は 10%程度減少していることから、結果として乗客 1 人当たりの CO₂ 排出量が増加した。

CO₂ 排出量の数値だけではなく、これらの背景も踏まえ、大気総合評価については「基準年(平成 18 年度)の状況とあまり変化がない：B」と評価する。



■ 大気に関する具体的な施策の進捗度

具体的な施策	進捗度
①GPU の使用促進を図る。(タイプⅠ)	3
②技術動向等を勘案し、車両のエコカー化を図る。(タイプⅠ)	3
③アイドリングストップ運動を組織的に推進する。(タイプⅡ)	3
④各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化を推進する。(タイプⅡ)	4

①GPU の使用促進を図る。 3

GPU の使用電力量をみると基準年の平成 18 年度には 38.6%だったものが、平成 21 年度には 58.9%と高くなり、平成 21 年度以降はほぼ一定の数値となっている。

GPU を使用している事業者は、GPU の利用促進を図り、徐々に使用拡大は進んでいると考えられる。



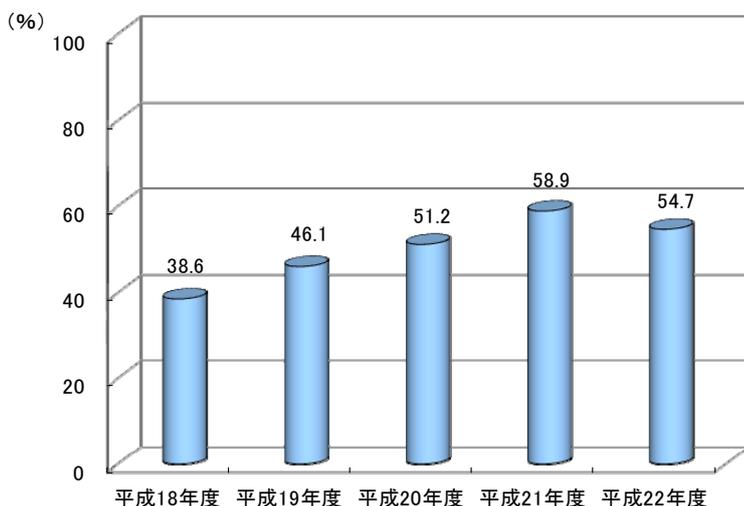
■ GPU 推進ポスター

※GPU …… Ground Power Unit の略。

地上において待機中の航空機に必要な電気を供給する施設。移動式と固定式がある。航空機に搭載している小型ガスタービン補助動力装置（APU）を使用するより航空燃料の消費を削減することができる。



■ GPU（地上動力装置）



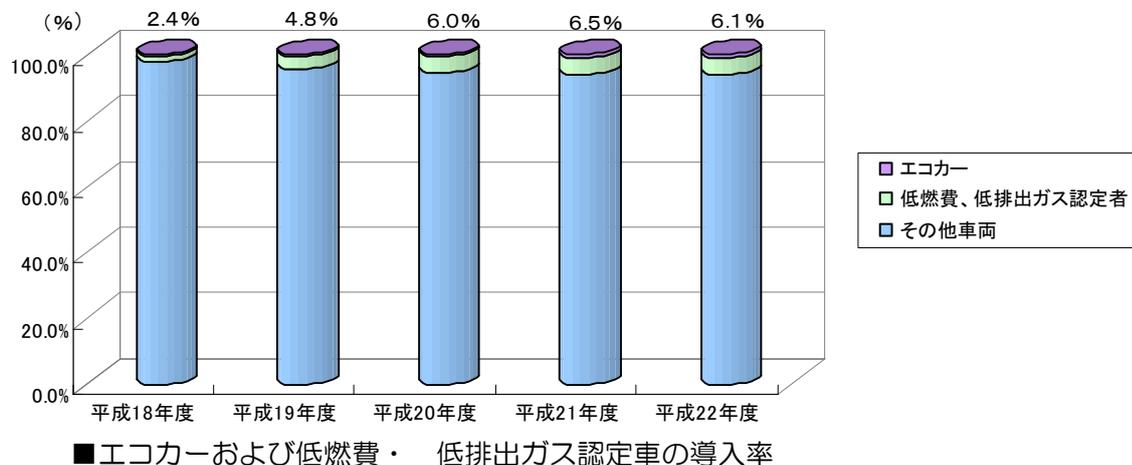
■ GPU 使用率

※(使用便数÷対象便数)より算出

②技術動向等を勘案し、車両のエコカー化を図る。 3

エコカー※1の導入状況についてみると、平成18年度からエコカー及び低燃費・低排出ガス認定車※2の導入を実施しており、その数は毎年増加している。

また、エコカー、低燃費・低排出ガス認定車の導入率は、平成18年度の2.4%から平成22年度には6.1%まで増加している。



■ハイブリッド車

※1 エコカーとは、天然ガス自動車、電気自動車、ハイブリッド車、メタノール自動車、LPG自動車、燃料電池自動車の6種類とする。

※2 低排出ガス認定車とは、いわゆる「平成12年及び17年基準排出ガス基準達成車」などの低公害車とする。



■低排出ガス認定車のステッカー

③アイドリングストップ運動を組織的に推進する。 3

定期的なアイドリングストップ運動やエコ10ドライブ運動の推進等を行っているため、車両のアイドリングストップは進んでいると考えられる。引き続き、定期的なアイドリングストップ運動を実施していく。

④各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化を推進する。 4

空港事業者においては、以下の取り組みを行っている。

- ・ 太陽光発電の利用
- ・ センサー等による照明器具の制御
- ・ 高効率照明器具への更新
- ・ 空調機、ポンプのインバーター化
- ・ 窓ガラスへの断熱塗装
- ・ 館内温度設定の見直し
- ・ 旅客搭乗橋を省電力型に更新
- ・ クールビズ期間の設定励行
- ・ 冷暖房温度の省エネ設定
- ・ 冷暖房機器のこまめな ON、OFF
- ・ 航空機用レーダーの更新による節電化
- ・ 誘導路灯に LED 照明採用



設置規模 : 207kw (国内空港第3位)
パネル枚数 : 1,152 枚
設置面積 : 1,528㎡ (940 畳分)
年間発電量 : 222,754kwh (一般家庭 55 軒分)
CO₂削減量 : 85.8 t
(杉の木の CO₂ 吸収量 6,128 本分)

■ 太陽光発電の利用



■旅客搭乗橋を省電力型に更新



■LED照明の誘導路灯



■光センサーを利用した照明の自動点灯



■人感センサーを利用した照明の自動点灯



■省エネ器具への更新



■高効率照明器具への更新



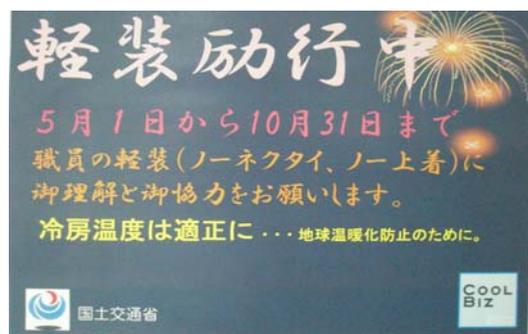
■窓ガラスへの断熱塗装



■館内温度設定の見直し



■冷暖房温度の省エネ設定の呼びかけ



■クールビズ励行ポスター

(2) 騒音・振動

● 目標

【車両及びGPU使用促進等により着実に騒音・振動を低減する】

進捗度：A

騒音・振動の目標である【現在より着実に騒音・振動を低減する】についてみると、低騒音型の航空機やGSE車両の導入が行われており、GPUの使用率も拡大している。このため、騒音・振動の評価については、「目標の達成に向かって着実に進捗している：A」と評価する。

■ 騒音・振動に関する具体的な施策の進捗度

具体的な施策	進捗度
①GPUの使用促進を図る。(タイプⅠ)	3
②GSE その他関係車両について、低騒音型車両への転換を図る。(タイプⅠ)	4
③アイドリングストップ運動を組織的に推進する。(タイプⅡ)	3

①GPUの使用促進を図る。 3 (前出)

②GSE その他関係車両について、低騒音型車両への転換を図る。 4
車両の低騒音化の他、駐機する航空機、ヘリコプター等の低騒音化も進められている。

③アイドリングストップ運動を組織的に推進する。 3 (前出)

(3) 水

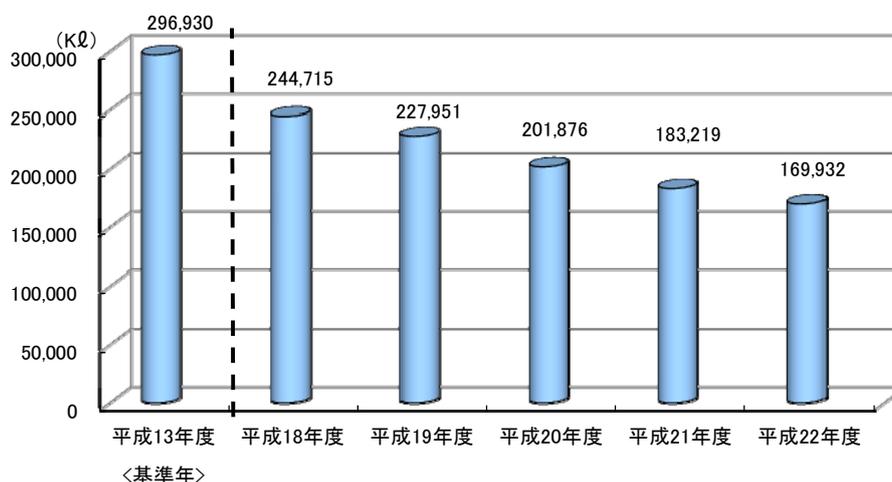
● 目標

【基準年の旅客 1 人あたりの上水使用量に対し 5%削減する】進捗度：A

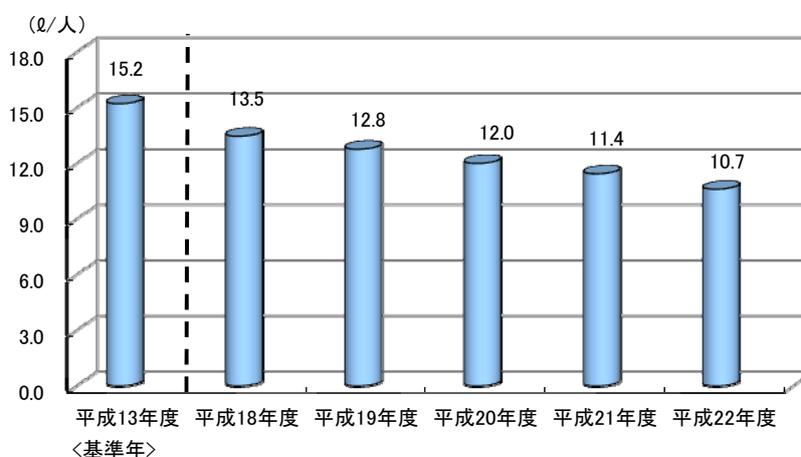
水の目標である【基準年の旅客 1 人あたりの上水使用量に対し 5%削減する】については、平成 13 年度の 15.2 リットル/人から平成 22 年度には 10.6 リットル/人に減少しており、基準年（H13 年度）から判断し、目標の約 5%の削減は達成している。

一般的には、旅客数の減少に伴い一人あたりの上水使用量は増加する傾向にあるが、旅客数が年々減少しているにもかかわらず、一人あたりの数値が減少していることから目標達成の取り組みが非常に効果的であったものと考えられる。

水道水使用総量をみても、基準年（H13 年度）から判断すれば 30%の削減を達成している。上水使用量の評価については、「目標の達成に向かって着実に進捗している：A」と評価する。



■水道水使用総量



■旅客 1 人あたりの上水使用量

■ 水に関する具体的な施策の進捗度

具体的な施策	進捗度
①各事業所の使用量を統計的に把握し、継続的に節水を呼びかける。(タイプⅡ)	5
②節水キャンペーンを実施し、空港旅客も含めた利用者の意識向上に努める。 (タイプⅡ)	5

①各事業所の使用量を統計的に把握し、継続的に節水を呼びかける。 5

環境レポートの作成等上水使用量の継続調査は行われていないが、上水の使用量は、年々減少している。

②節水キャンペーンを実施し、空港旅客も含めた利用者の意識向上に努める。 5

節水キャンペーンは行われていないが、上水の使用量は、年々減少している。これは、近年社会全体にエコの気運が高まり、これに伴い節水が実施されているものと考えられる。自動手洗水栓、節水器や節水コマ等の設置により、上水の使用量は、年々減少している。

(4) 土壌

● 目標

【可能な限り土壌への影響を小さくする】進捗度：B

土壌の目標である、【可能な限り土壌への影響を小さくする】の融雪剤については、冬期に航空機機体への防除雪氷剤の散布、滑走路・誘導路等への融雪剤を散布する場合があります、雪解け水や雨水とともに場外へ流出していく可能性があるため、環境負荷の小さい薬剤の使用を促進している。そのため土壌の評価については、「基準年（平成 18 年度）の状況からあまり変化がない：B」と評価する。

■ 土壌に関する具体的な施策の進捗度

具体的な施策	進捗度
①尿素系融雪剤は環境負荷の少ない酢酸系等に変換を図る。(タイプⅠ)	5
②防除氷剤について、エチレングリコールから比較的環境負荷の小さいプロピレングリコールに変換を図る。(タイプⅠ)	5
③効果的な散布方法により散布量を低減させる。(タイプⅠ)	2

①尿素系融雪剤は環境負荷の少ない酢酸系等に変換を図る。 5

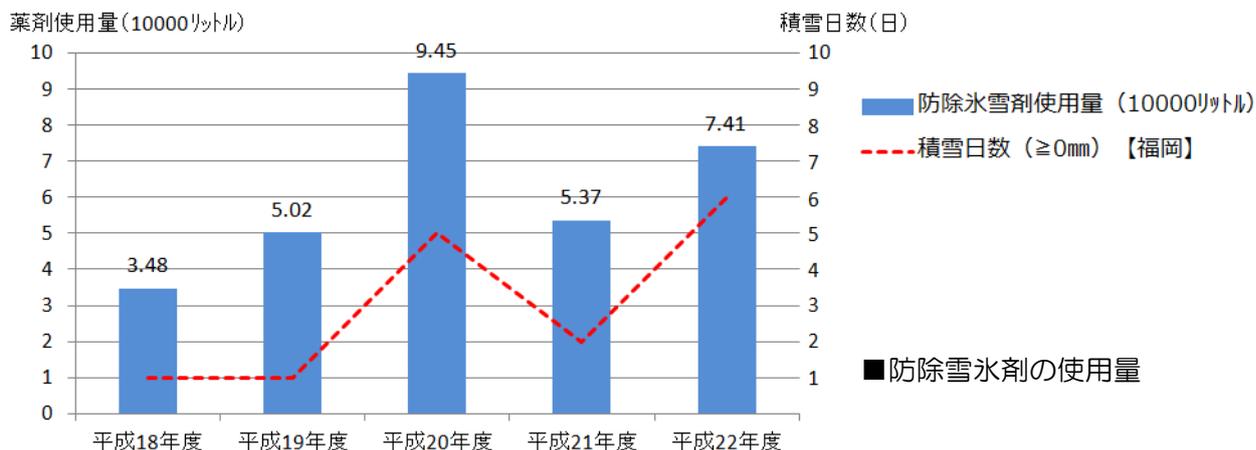
滑走路、誘導路等へ散布する融雪剤は尿素系を使用せず、環境負荷の少ない酢酸または蟻酸系を使用している。

②防除氷剤について、エチレングリコールから比較的環境負荷の小さいプロピレングリコールに変換を図る。 5

エチレングリコールの使用量は平成 18 年度は 17,970ℓであったが平成 20 年度以降は使用されていない。このことからプロピレングリコールの使用への変換が図られていることがわかる。

③効果的な散布方法により散布量を低減させる。 2

防除雪氷剤の使用量は気候に大きく左右されるが、平成 22 年度の散布量は 74,092ℓに大きく増加しており、基準年より増加傾向となっている。



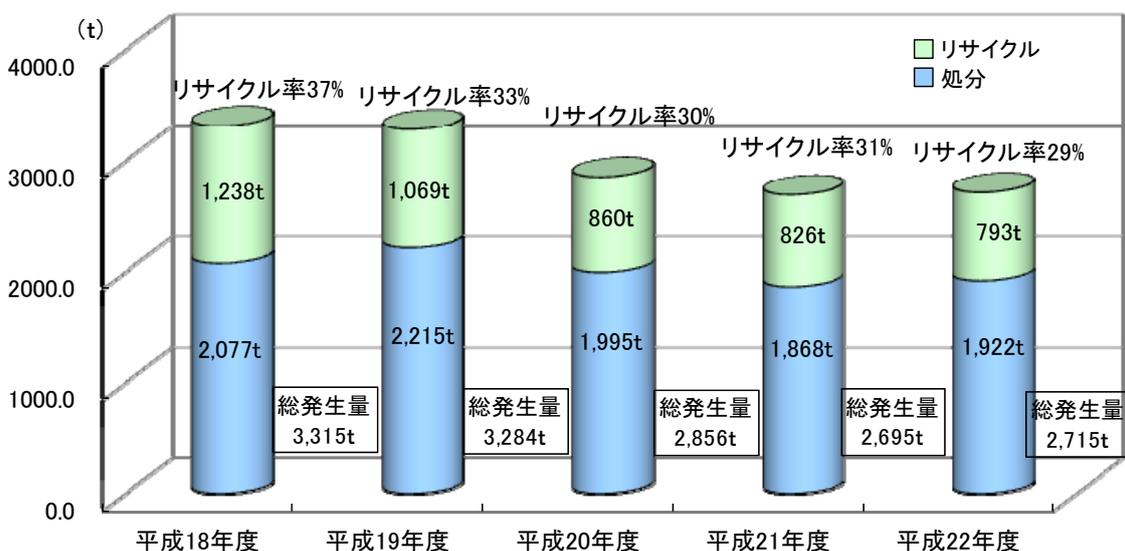
(5) 廃棄物

● 目標
 【空港全体の廃棄物発生量の低減を図る】 進捗度：A

廃棄物の目標である、【空港全体の廃棄物発生量の低減を図る】については、平成 18 年度の 3,315t/年から平成 22 年度の 2,715t/年へと減少している。一方、リサイクル率は、平成 18 年度の 37%から平成 22 年度の 29%へ低下傾向にある。

(※建設工事等の一過性のものによる廃棄物は除く。)

このため、廃棄物の総合評価については、「目標の達成に向かって着実に進捗している：A」と評価する。



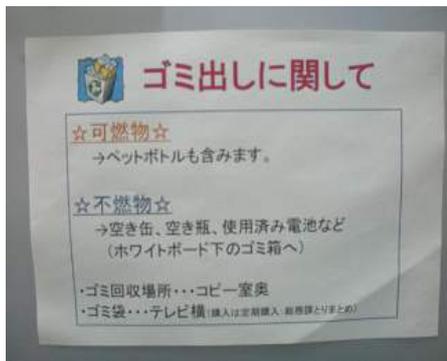
■ 廃棄物の総発生量とリサイクル率

■ 廃棄物に関する具体的な施策の進捗度

具体的な施策	進捗度
①現状可燃ごみとして焼却されている新聞紙及び雑誌はリサイクル事業者に委託する。(タイプI)	5
② 一般廃棄物は排出事業者ごとの発生量の把握と、ごみの減量キャンペーン(再生製品の積極的採用、紙使用量の削減、空港利用者への呼びかけ等)を実施する。(タイプI)	5
③ 産業廃棄物は発生量、処分及び再利用方法を把握し、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を軸とした削減を行っていく。(タイプI)	5

①現状可燃ごみとして焼却されている新聞紙及び雑誌はリサイクル業者に委託する。 5

旅客ターミナルビル及び各事務所にてゴミの分別を行っており、新聞、雑誌、ダンボールのリサイクルについては、年々確実に行われている。



■リサイクル資源の収集

②一般廃棄物は排出事業者ごとの発生量の把握と、ごみの減量キャンペーン（再生製品の積極的採用、紙使用量の削減、空港利用者への呼びかけ等）を実施する。 5

一般廃棄物の発生量は平成18年度から平成21年度の4年間は2,787t/年から2,505t/年へ減少している。平成22年度は2,586t/年に増加したものの平成18年度の発生量を下回っている。一方、リサイクル率は27%前後で一定している。

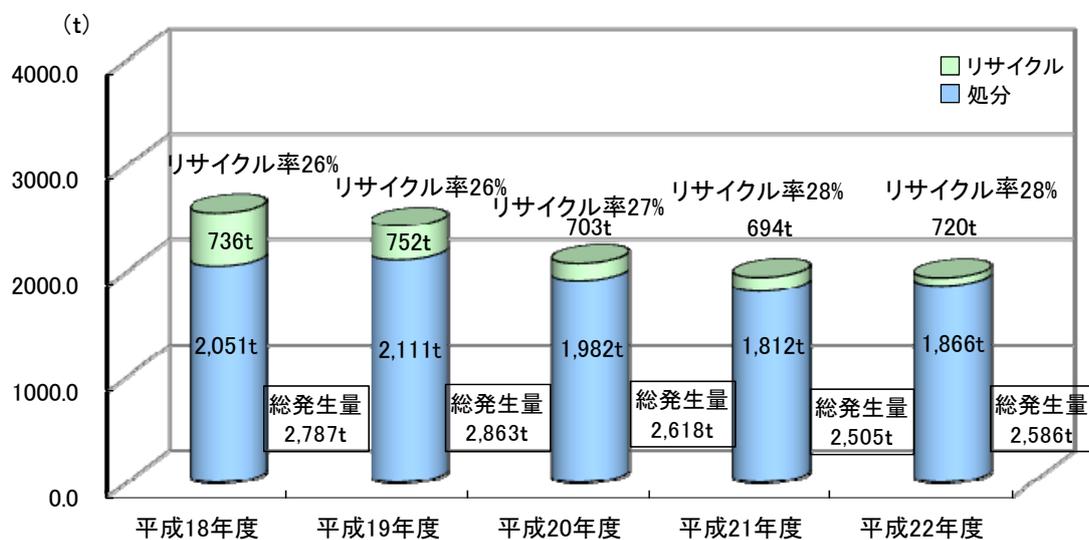
再生製品の積極的採用や空港利用者への呼びかけも行われている。



■再生製品の利用



■ゴミの分別回収状況

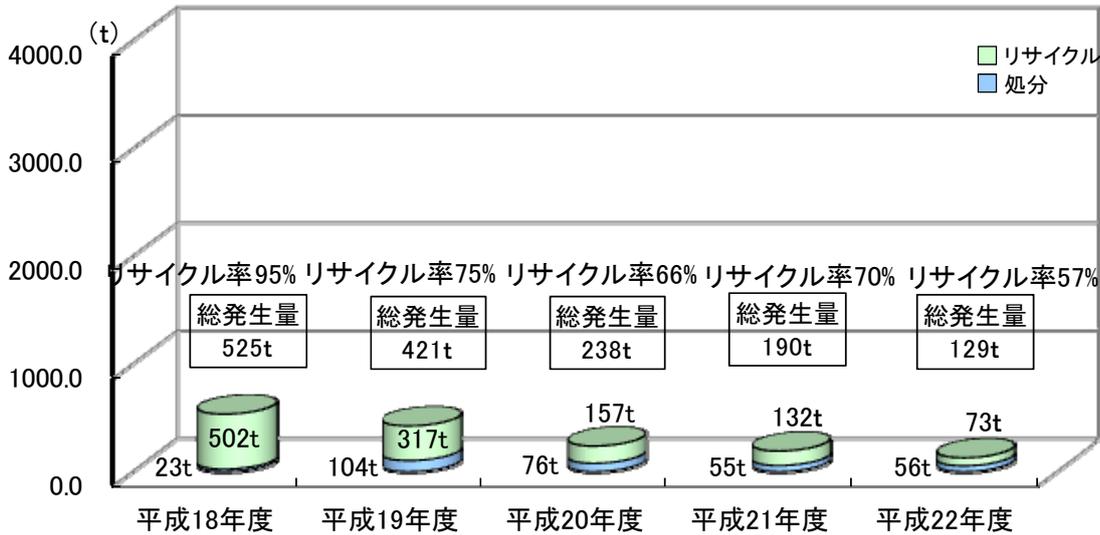


■一般廃棄物の総発生量とリサイクル率

③産業廃棄物は発生量、処分及び再利用方法を把握し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を軸とした削減を行っていく。5

各事業者の産業廃棄物の発生量は毎年減っており、平成22年度は平成18年度の約1/4に減少している。一方、リサイクル率は平成18年度の95%から平成22年度の57%へ低下傾向にある。

なお、ターミナルビルにおいては厨房から排出される廃棄物削減のためのバイオ処理施設を平成21年度7月から導入、テナントごみの処理施設も平成24年度に計画されている。



■ 産業般廃棄物の総発生量とリサイクル率

また、空港内の緑地から、毎年相当量の刈草が発生しているが、刈草を堆肥化することにより廃棄物の発生量を抑えている。



■ 刈草堆肥化の様子

(6) エネルギー

大気の項による。

(7) 自然環境

自然環境については目標および具体的な施策は掲げられていない。

空港内及び周辺緑地は定期的な維持作業が行われ、旅客ターミナルビルの緑化などもなされている。



■ゴミ拾い



■旅客ビル緑化



■空港周辺の緑地

(8) その他

公共交通機関の利用について、目標および具体的な施策は掲げられていない。

公共交通機関の利用状況について、2年毎に行われている「航空旅客動態調査」のアクセス・イグレス交通機関分担率に基づく利用率を次表に示す。

交通機関 年度	公共交通機関			自家用車、 レンタカー
	地下鉄	バス(空港、 貸切、市内)	タクシー	
平成13年度	42%	27%	11%	20%
平成19年度	46%	18%	11%	25%
平成21年度	48%	15%	10%	27%

公共交通機関の分担率は、平成13年度80%であったものが、平成19年度75%、平成21年度73%とほぼ一定である。

4) 中間評価のまとめ

これまでの空港環境計画における各環境要素の進捗状況を総合的に評価する。評価方法としては、目標の進捗状況と各施策の進捗状況の平均値を、以下のようにマトリックスで客観的に評価した。

<div style="text-align: right;">目標の評価</div> <div style="text-align: left;">各施策の進捗状況（平均値）</div>	A	B	C
平均値 3.5 以上			
平均値 2.5~3.5			
平均値 2.5 未満			

総合的な評価により、以下のような結果となった。

環境要素の 総合評価	目標と具体的な施策	進捗状況 の評価
(1)大気 	【旅客 1 人当たりの CO ₂ の排出量を着実に抑制する】	B
	①GPU の使用促進を図る。(タイプ I)	3
	②技術動向等を勘案し、車両のエコカー化を図る。 (タイプ I)	3
	③アイドリングストップ運動を組織的に推進する。 (タイプ II)	3
	④各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化を推進する。 (タイプ II)	4
(2)騒音・振動 	【車両及びGPU使用促進等により着実に騒音・振動を低減する】	A
	①GPU の使用促進を図る。(タイプ I)	3
	②GSE その他関係車両について、低騒音型車両への転換を 図る。(タイプ I)	4
	③アイドリングストップ運動を組織的に推進する。 (タイプ II)	3
(3)水 	【基準年の旅客 1 人あたりの上水使用量に対し 5%削減す る】	A
	①各事業所の使用量を統計的に把握し、継続的に節水を呼び かける。(タイプ II)	5
	②節水キャンペーンを実施し、空港旅客も含めた利用者の意 識向上に努める。(タイプ II)	5
(4)土壌 	【可能な限り土壌への影響を小さくする】	B
	①尿素系融雪剤は環境負荷の少ない酢酸系等に変換を図る。 (タイプ I)	5
	②防除氷剤について、エチレングリコールから比較的環境負 荷の小さいプロピレングリコールに変換を図る。(タイプ I)	5
	③効果的な散布方法により散布量を低減させる。(タイプ I)	2
(5)廃棄物 	【空港全体の廃棄物発生量の低減を図る】	A
	①現状可燃ごみとして焼却されている新聞紙及び雑誌はリ サイクル事業者に委託する。(タイプ I)	5
	② 一般廃棄物は排出事業者ごとの発生量の把握と、ごみの 減量キャンペーン(再生製品の積極的採用、紙使用量の削減、 空港利用者への呼びかけ等)を実施する。(タイプ I)	5
	③ 産業廃棄物は発生量、処分及び再利用方法を把握し、3 R (リデュース、リユース、リサイクル) を軸とした削減を 行っていく。(タイプ I)	5
(6)エネルギー	大気の項による。	—

5. 目標達成に向けての対策

1) 今後の課題

これまでの、総合的な中間評価から、目標の達成に向けての進捗状況が芳しくない課題を整理する。

- ・ GPU の使用促進
- ・ エコカーの導入

(1) GPU の使用促進

GPU や地上電源車は、地上において待機中の航空機に必要な電気を供給する施設であり、航空機に搭載してある小型ガスタービン補助動力装置 (APU) を使用するより航空燃料の消費および CO₂ 削減に有効である。

今後さらに、GPU の使用を促進する必要がある。

(2) エコカーの導入

エコカーの導入は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素 (CO₂) や、大気汚染物質である窒素酸化物 (NO_x)、粒子状物質 (PM)、硫黄酸化物 (SO_x) などの排出抑制に有効である。

平成 22 年度のエコカーおよび低燃費・低排出ガス認定車の使用台数は 19 台であり、使用率は 6.1 % で決して大きな値ではない。

今後は、エコカー導入率の向上を目指す必要がある。

2) 目標の見直し (案)

今回の中間評価において、一部の施策にみられるように目標達成まであと少しのものもある。この結果から、各評価項目における目標を以下のとおり見直すこととする。

評価項目	現在の目標	進捗度	中間評価結果による見直し(案)
大気	旅客 1 人あたりの CO ₂ 排出量を着実に抑制する	B	現状のまま
	具体的な施策 GPU の使用促進を図る。	3	GPU の使用促進を図り、 GPU 使用率を 60%まで向上させる。
	技術動向等を勘案し、車両のエコカー化を図る。	3	車両のエコカー化を図り、 エコカーおよび低燃費・低排出ガス認定車の導入率を 10%まで向上させる。
	各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化を推進する。	4	各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化を推進することにより、 平成 18 年度(評価開始年度)の電力使用量に対し 10%削減
現在の目標は旅客 1 人あたりの CO ₂ 排出量に対するものだが、この数値は電気事業者の CO ₂ 排出係数や旅客数等の影響により大きく変動するため、施策の効果、進捗状況を正確に把握することができない。このため、施策ごとに具体的な数値目標を設定し目標を明確化することにより、施策の進捗向上を図る。			
水	基準年の旅客 1 人あたりの上水使用量に対し 5%削減	A	基準年の旅客 1 人あたりの上水使用量に対し 40%削減 既に目標以上(30%程度)の削減を達成していることから、新たな目標を掲げる。
廃棄物	空港全体の廃棄物発生量の低減を図る	A	空港全体の廃棄物の リサイクル率を 40%まで向上させる 廃棄物の総発生量は年々減少しているものの、リサイクル率は 30%程度の横ばいとなっているため、リサイクル率の具体的な数値目標を掲げることにより、廃棄物発生量の更なる低減を図る。
目標年度	平成 25 年度 (評価期間 8 年)		平成 28 年度 (評価期間 10 年) 現在の状況、特に大気に関する施策の進捗状況を見ると、まだ施策の成果が具体的には現れておらず、基準年から状況の変化が見られていない。また近年、リーマンショックや東日本大震災の影響、LCCの就航など、空港を取り巻く環境の変化が著しく、旅客数、発着回数の変動から旅客 1 人あたりのエネルギー使用量等のデータにも大きく影響を与えている。このため、より長期的に状況を見極め評価すべきと思慮されることから、目標年度を平成 28 年度に延長する。

資料

エネルギー消費量

年度	施設用								車両用			
	電気		ガス		その他				灯油 (L)	ガソリン (L)	軽油 (L)	A重油 (L)
	売電 (kwh)	自家発 (kwh)	都市ガス (m3)	プロパンガス (m3)	灯油 (L)	ガソリン (L)	軽油 (L)	A重油 (L)				
平成18年度	70,745,307		736,972	126,193	34,101		6,487	1,018,900	200	73,946	329,615	
平成19年度	71,070,093		669,765	122,156	28,265		5,986	926,700	200	74,839	636,674	
平成20年度	70,557,508		529,849	120,955	2,082		3,779	480,705	1,423	79,530	637,099	
平成21年度	68,390,594		355,106	114,777	1,439		3,997	432,712		93,037	982,924	
平成22年度	69,304,678		410,007	114,658	1,421		3,635	469,808		103,517	1,156,202	

種別	単位発熱量	出典
電気	3.6 MJ/kwh	総合エネルギー統計の解説(2009年6月)独立行政法人経済産業研究所)
都市ガス	41.1 GJ/1000Nm ³	地域温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアル(平成21年6月)環境省
プロパンガス	50.2 GJ/t	地域温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアル(平成21年6月)環境省
灯油	36.7 GJ/k ℓ	地域温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアル(平成21年6月)環境省
ガソリン	34.6 GJ/k ℓ	地域温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアル(平成21年6月)環境省
軽油	38.2 GJ/k ℓ	地域温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアル(平成21年6月)環境省
A重油	39.1 GJ/k ℓ	地域温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアル(平成21年6月)環境省

※プロパンガス: 1 m³=2kg

年度	エネルギー消費量 (MJ)	旅客数 合計(人)	旅客1人当りエネルギー 消費量(MJ/人)
平成18年度	354,137,910	18,123,731	20
平成19年度	360,061,825	17,826,082	20
平成20年度	334,085,209	16,817,358	20
平成21年度	330,215,958	16,026,445	21
平成22年度	344,168,846	15,953,656	22

CO2排出量

年度	CO2排出量 (kg-CO2)	旅客数 (人)	旅客1人当りCO2排出量 (kg-CO2/人)
平成18年度	32,769,236	18,123,731	1.81
平成19年度	34,106,396	17,826,082	1.91
平成20年度	31,427,427	16,817,358	1.87
平成21年度	30,660,286	16,026,445	1.91
平成22年度	32,790,793	15,953,656	2.06

GPU 年度別電気使用量

年度	固定電源 (分)	移動電源 (分)
平成18年度		
平成19年度		
平成20年度		
平成21年度	25,141	7,429
平成22年度	25,912	8,647
平成23年度	23,048	10,871

GPU使用率

年度	対象便数	使用便数	実績(%)
平成18年度	71,429	27,593	38.6
平成19年度	71,992	33,219	46.1
平成20年度	68,049	34,877	51.2
平成21年度	65,543	35,586	58.9
平成22年度	71,442	39,050	54.7
平成23年度	72,350	38,464	53.2

車両関係

年度	その他 (台)	エコカー(台)	低燃費・低排 出ガス認定 車(台)	低騒音型車 両(台)
平成18年度	254	1	5	
平成19年度	293	1	13	
平成20年度	300	1	17	
平成21年度	308	3	17	
平成22年度	309	3	16	

上水道

年度	水道水使用量 (m ³)	旅客数 (人)	旅客1人当りの水使用量 (ℓ/人)
平成13年度	296,930	19,499,188	15.2
平成18年度	244,715	18,123,731	13.5
平成19年度	227,951	17,826,082	12.8
平成20年度	201,876	16,817,358	12.0
平成21年度	183,219	16,026,445	11.4
平成22年度	169,932	15,953,656	10.7

融雪剤(液状)

年度	液状融雪剤 総使用量(ℓ)
平成18年度	34,770
平成19年度	52,020
平成20年度	94,450
平成21年度	53,712
平成22年度	74,092

融雪剤(粒状)

年度	粒状融雪剤 総使用量(t)	酢酸・蟻酸系 融雪剤使用 量(t)	酢酸・蟻酸系 融雪剤使用 率(%)
平成18年度			
平成19年度	1760.000	1760.000	100
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			

一般廃棄物

年度	一般廃棄物 発生量(t)	リサイクル処 理量(t)	リサイクル率 (%)	産業廃棄物 発生量(t)	特別管理産 業廃棄物発 生量(t)	廃棄物発生 量総数(t) [※]
平成18年度	2,787	736	26.4%	23	504	3,315
平成19年度	2,863	752	26.3%	101	320	3,284
平成20年度	2,618	703	26.9%	76	161	2,856
平成21年度	2,505	694	27.7%	55	134	2,695
平成22年度	2,586	720	27.8%	54	75	2,715

※空港事務所以外の建設廃棄物は除く

リサイクル率

年度	一般廃棄物 発生量(t) ①	産業廃棄物 発生量(t) ②	特別管理産 業廃棄物発 生量(t) ③	一般廃棄物 再生利用量 (t) ④	産業廃棄物 再生利用量 (t) ⑤	廃棄物 総発生量 (t)	廃棄物 総再生利用 量(t)	リサイクル 率(%) ④+⑤/①+ ②+③
平成18年度	2,787	23	504	736	502	3,315	1,238	37
平成19年度	2,863	101	320	752	317	3,284	1,069	33
平成20年度	2,618	76	161	703	157	2,856	860	30
平成21年度	2,505	55	134	694	132	2,695	826	31
平成22年度	2,586	54	75	720	73	2,715	793	29

一般廃棄物のリサイクル率

2,787	÷	736	=	26%
2,863	÷	752	=	26%
2,618	÷	703	=	27%
2,505	÷	694	=	28%
2,586	÷	720	=	28%

産業廃棄物のリサイクル率

528	÷	502	=	95%
421	÷	317	=	75%
238	÷	157	=	66%
190	÷	132	=	70%
129	÷	73	=	57%

年度集計

種別	内訳		単位	平成18年度 (合計①～ ④)	平成19年度 (合計①～ ④)	平成20年度 (合計①～ ④)	平成21年度 (合計①～ ④)	平成22年度 (合計①～ ④)	
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	70,745,307	71,070,093	70,557,508	68,390,594	69,304,678
			自家発	kwh					
		ガス	都市ガス	m ³	736,972	669,765	529,849	355,106	410,007
			プロパンガス	m ³	126,193	122,156	120,955	114,777	114,658
		その他	灯油	ℓ	34,101	28,265	2,082	1,439	1,421
			ガソリン	ℓ					
	軽油		ℓ	6,487	5,986	3,779	3,997	3,635	
	A重油		ℓ	1,018,900	926,700	480,705	432,712	469,808	
	車両用	灯油	ℓ	200	200	1,423			
		ガソリン	ℓ	73,946	74,839	79,530	93,037	103,517	
		軽油	ℓ	329,615	636,674	637,099	982,924	1,156,202	
		A重油	ℓ						
水使用	上水使用	水道水	m ³	244,715	227,951	201,876	183,219	169,932	
		井戸水	m ³	33,226	40,715	30,993	51,619	52,581	
	中水処理量		m ³	170,579	175,982	128,147	146,487	156,657	
	下水処理量		m ³	244,715	227,951	201,876	183,219	169,932	
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ	16,800	51,670	94,450	53,712	74,092	
		エチレングリコール	ℓ	17,970	350				
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t		1,760				
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	2,787	2,863	2,618	2,505	2,586	
		再生利用量	t	736	752	703	694	720	
		再生利用率	%	26.4	26.3	26.9	27.7	27.8	
	産業廃棄物	発生量	t	23	101	76	55	54	
		再生利用量	t				1	2	
		再生利用率	%				2.3	3.2	
	建設廃棄物発生量	発生量	t	504	320	161	134	75	
		再生利用量	t	502	317	157	132	73	
		再生利用率	%	99.5	99.1	97.5	98.5	97.3	
車両	エコカー		台	1	1	1	3	3	
	低燃費・低排出ガス認定車		台	5	13	17	17	16	
	低騒音型者慮用		台						
	その他		台	248	279	282	288	290	
	合計		台	254	293	300	308	309	

平成18年度

種別	内訳		単位	官公庁						合計①			
				福岡空港事務所 総務課	福岡空港事務所 環境・地域 振興課	福岡空港事務所 航空灯火・ 電気技術官	福岡空港事務所 施設運用管理 官(広域施設 担当)	福岡空港事務所 施設運用管理 官(基盤施設 担当)	福岡空港測候 所		九州地方整備 局 博多港湾空港 工事事務所		
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh			7,514,088				39,686	7,553,774	
			自家発電	kwh								0	
		ガス	都市ガス	m³								0	
			プロパンガス	m³	1,744							82	1,826
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
			軽油	ℓ				6,387					6,387
	A重油		ℓ									0	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ				6,644				1,300	7,944	
		軽油	ℓ				14,724					14,724	
		A重油	ℓ									0	
	水使用	上水使用	水道水	m³	5,321							204	5,525
井戸水			m³									0	
中水処理量		m³	3,158									3,158	
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ									0	
		エチレングリコール	ℓ									0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t									0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	産業廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t			0.14		504				504.14	
		再生利用量	t			0		502				502	
		再生利用率	%			0		99.6				99.6	
車両	エコカー		台									0	
	低燃費・低排出ガス認定車		台									0	
	低騒音型者慮用		台									0	
	その他		台				20				2	22	
	合計		台				20				2	22	

平成18年度

種別	内訳		単位	官公庁							合計②		
				門司税関 福岡税関支署	福岡入国管理 局 福岡空港出張 所	動物検疫所 門司支所 福岡空港出張 所	門司植物防疫 所福岡支所 福岡空港出張 所	福岡検疫所 福岡空港 検疫支所	第七管区 海上保安本部 福岡航空基地	福岡空港警察 署			
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	1,774,396		81,944	103,556	235,204	167,262	301,938	2,664,300	
			自家発	kwh								0	
		ガス	都市ガス	m ³	64,461		3,488	40	8,388				76,377
			プロパンガス	m ³							330		330
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ									0	
	A重油		ℓ							3,900		3,900	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ			189		500	2,044	10,350		13,083	
		軽油	ℓ						900			900	
		A重油	ℓ									0	
水使用	上水使用	水道水	m ³	3,684		213	265	575	1,023	1,643	7,403		
		井戸水	m ³								0		
	中水処理量	m ³									0		
融雪剤	防除雪水剤	プロピレングリコール	ℓ								0		
		エチレングリコール	ℓ								0		
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t								0		
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t								0		
		再生利用量	t								0		
		再生利用率	%								0		
	産業廃棄物	発生量	t			1.9				0.8	2.7		
		再生利用量	t			0			0		0		
		再生利用率	%			0			0		0		
	建設廃棄物発生量	発生量	t								0		
		再生利用量	t								0		
		再生利用率	%								0		
車両	エコカー		台								0		
	低燃費・低排出ガス認定車		台								0		
	低騒音型者慮用		台								0		
	その他		台	7		1		2	2		12		
	合計		台	7		1		2	2		12		

平成18年度

種別	内訳		単位	官公庁		航空会社				構内営業者	合計③		
				福岡県警察 航空隊	福岡市消防 航空隊	㈱日本航空 インター ナショナル	全日本空輸㈱ (エア・ニッポ ン)㈱	スカイマーク㈱	西日本空輸㈱	(財)空港環境 整備協会			
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh			2,587,246	1,225,412	14,150	173,971	323,342	4,324,121	
			自家発	kwh									0
		ガス	都市ガス	m ³								452	452
			プロパンガス	m ³								106	106
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
			軽油	ℓ								100	100
	A重油		ℓ									0	
	車両用	灯油	ℓ				200					200	
		ガソリン	ℓ				18,500	3,030	2,100	12,065	1,564	37,259	
		軽油	ℓ					86,152	64,600	3,259		154,011	
		A重油	ℓ									0	
	水使用	上水使用	水道水	m ³							312	697	1,009
井戸水			m ³									0	
中水処理量		m ³									0		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ				15,050	1,750				16,800	
		エチレングリコール	ℓ			17,820		150				17,970	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t									0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	産業廃棄物	発生量	t			12.4	8.15					20.55	
		再生利用量	t			0	0					0	
		再生利用率	%			0	0					0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t								0.16	0.16	
		再生利用量	t								0	0	
		再生利用率	%								0	0	
車両	エコカー		台							1		1	
	低燃費・低排出ガス認定車		台							5		5	
	低騒音型者慮用		台									0	
	その他		台			90	30	30		2	4	156	
	合計		台			90	30	30		8	4	162	

平成18年度

種別	内訳		単位	構内営業者					合計④		
				福岡空港ビルディング(株)	空港施設(株)大阪事業所	福岡給油施設(株)	(株)エージーピー	福岡インフライトケイタリング(株)			
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	54,695,000	100,408	607,584	800,120			56,203,112
			自家発	kwh							0
		ガス	都市ガス	m ³	660,143						660,143
			プロパンガス	m ³	123,883			48			123,931
		その他	灯油	ℓ			34,101				34,101
			ガソリン	ℓ							0
	軽油		ℓ							0	
	A重油		ℓ	1,015,000						1,015,000	
	車両用	灯油	ℓ							0	
		ガソリン	ℓ	1,500		10,460	3,700			15,660	
		軽油	ℓ			42,980	117,000			159,980	
		A重油	ℓ							0	
水使用	上水使用	水道水	m ³	224,549	2,699	3,530				230,778	
		井戸水	m ³	33,226						33,226	
	中水処理量	m ³	167,421						167,421		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ							0	
		エチレングリコール	ℓ							0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t							0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	2,787						2,787	
		再生利用量	t	736						736.00	
		再生利用率	%	26.4						26.4	
	産業廃棄物	発生量	t							0	
		再生利用量	t							0	
		再生利用率	%							0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t							0	
		再生利用量	t							0	
		再生利用率	%							0	
車両	エコカー		台							0	
	低燃費・低排出ガス認定車		台							0	
	低騒音型者慮用		台							0	
	その他		台	2		34	22			58	
	合計		台	2		34	22			58	

平成19年度

種別	内訳		単位	官公庁						合計①		
				福岡空港事務所 総務課	福岡空港事務所 環境・地域 振興課	福岡空港事務所 航空灯火・ 電気技術官	福岡空港事務所 施設運用管理 官(広域施設 担当)	福岡空港事務所 施設運用管理 官(基盤施設 担当)	福岡空港測候 所		九州地方整備 局 博多港湾空港 工事事務所	
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh			7,545,088			45,182	7,590,270	
			自家発	kwh							0	
		ガス	都市ガス	m ³								0
			プロパンガス	m ³	1,764						33	1,797
		その他	灯油	ℓ								0
			ガソリン	ℓ								0
	軽油		ℓ				5,926				5,926	
	A重油		ℓ								0	
	車両用	灯油	ℓ								0	
		ガソリン	ℓ				6,913			1,855	8,768	
軽油		ℓ				14,932				14,932		
A重油		ℓ								0		
水使用	上水使用	水道水	m ³	5,164						173	5,337	
		井戸水	m ³								0	
	中水処理量		m ³	3,611							3,611	
融雪剤	防除雪水剤	プロピレングリコール	ℓ								0	
		エチレングリコール	ℓ								0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t				1,760				1,760	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	20.94							20.94	
		再生利用量	t	0							0	
		再生利用率	%	0							0	
	産業廃棄物	発生量	t								0	
		再生利用量	t								0	
		再生利用率	%								0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t			1.54		318			319.54	
		再生利用量	t			1.54		315			316.54	
		再生利用率	%			100		99.1			99.1	
車両	エコカー		台								0	
	低燃費・低排出ガス認定車		台							1	1	
	低騒音型者慮用		台								0	
	その他		台				20			1	21	
	合計		台				20			2	22	

平成19年度

種別	内訳			単位	官公庁							合計②	
					門司税関 福岡税関支署	福岡入国管理 局 福岡空港出張 所	動物検疫所 門司支所 福岡空港出張 所	門司植物防疫 所福岡支所 福岡空港出張 所	福岡検疫所 福岡空港 検疫支所	第七管区 海上保安本部 福岡航空基地	福岡空港警察 署		
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	1,822,891	297,270	117,343	111,089	224,609	181,152	301,903	3,056,257	
			自家発	kwh									0
		ガス	都市ガス	m ³	2,361	14,057	4,072	209	10,465				31,164
			プロパンガス	m ³							352		352
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ									0	
	A重油		ℓ							4,800		4,800	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ			465	430	561	2,203	10,760		14,419	
		軽油	ℓ									0	
		A重油	ℓ									0	
水使用	上水使用	水道水	m ³	5,123	437	298	295	660	1,087	1,621	9,520		
		井戸水	m ³									0	
	中水処理量	m ³									0		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ								0		
		エチレングリコール	ℓ								0		
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t								0		
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t								0		
		再生利用量	t								0		
		再生利用率	%								0		
	産業廃棄物	発生量	t			2.2			3.68		5.88		
		再生利用量	t			0			0		0		
		再生利用率	%			0			0		0		
	建設廃棄物発生量	発生量	t								0		
		再生利用量	t								0		
		再生利用率	%								0		
車両	エコカー			台							0		
	低燃費・低排出ガス認定車			台			1		2		3		
	低騒音型者慮用			台							0		
	その他			台	9			1		5	15		
	合計			台	9		1	1	2	5	18		

平成19年度

種別	内訳		単位	官公庁		航空会社				構内業者	合計③		
				福岡県警察航空隊	福岡市消防航空隊	(株)日本航空インターナショナル	全日本空輸(株)(エア・ニッポン(株))	スカイマーク(株)	西日本空輸(株)	(財)空港環境整備協会			
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	51,708	52,384	2,489,912	1,152,723	111,228	187,078	333,163	4,378,196	
			自家発	kwh									0
		ガス	都市ガス	m ³								452	452
			プロパンガス	m ³	74	51						106	231
		その他	灯油	ℓ		265							265
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ								60	60	
	A重油		ℓ									0	
	車両用	灯油	ℓ				200					200	
		ガソリン	ℓ	808	1,151	16,208	1,912	1,856	10,618	1,565		34,118	
		軽油	ℓ	192	868	271,355	105,315	52,800	3,059			433,589	
		A重油	ℓ									0	
水使用	上水使用	水道水	m ³	223	292				285	652	1,452		
		井戸水	m ³									0	
	中水処理量		m ³									0	
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ			31,230	18,900	1,540				51,670	
		エチレングリコール	ℓ					350				350	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t									0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	産業廃棄物	発生量	t			77.95	16.35			1.1		95.4	
		再生利用量	t			0	0		0			0	
		再生利用率	%			0	0		0			0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
車両	エコカー		台						1		1		
	低燃費・低排出ガス認定車		台			1			4		5		
	低騒音型者慮用		台								0		
	その他		台	3	5	91	50	30	1	4	184		
	合計		台	3	5	92	50	30	6	4	190		

平成19年度

種別	内訳		単位	構内営業者					合計④	
				福岡空港 ビルディング(株)	空港施設(株) 大阪事業所	福岡給油施設 (株)	(株)エージーピー	福岡インフラ イトケイタリング(株)		
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh	54,269,000	103,352	616,380	932,356	124,282	56,045,370
			自家発電	kwh						0
		ガス	都市ガス	m ³	638,149					638,149
			プロパンガス	m ³	119,741			36		119,777
		その他	灯油	ℓ			28,000			28,000
			ガソリン	ℓ						0
	軽油		ℓ						0	
	A重油		ℓ	910,000				11,900	921,900	
	車両用	灯油	ℓ						0	
		ガソリン	ℓ	1,400		8,081	3,852	4,201	17,534	
		軽油	ℓ			32,799	133,052	22,302	188,153	
		A重油	ℓ						0	
水使用	上水使用	水道水	m ³	206,254	2,606	2,074		708	211,642	
		井戸水	m ³	40,715					40,715	
	中水処理量	m ³	172,371					172,371		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ						0	
		エチレングリコール	ℓ						0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t						0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	2,842					2,842	
		再生利用量	t	752					752	
		再生利用率	%	26.5					26.5	
	産業廃棄物	発生量	t						0	
		再生利用量	t						0	
		再生利用率	%						0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t						0	
		再生利用量	t						0	
		再生利用率	%						0	
車両	エコカー		台						0	
	低燃費・低排出ガス認定車		台				4		4	
	低騒音型者慮用		台						0	
	その他		台	2	0	31	18	8	59	
	合計		台	2	0	31	22	8	63	

平成20年度

種別	内訳		単位	官公庁							合計①	
				福岡空港事務所 総務課	福岡空港事務所 環境・地域 振興課	福岡空港事務所 航空灯火・ 電気技術官	福岡空港事務所 施設運用管理 官(広域施設 担当)	福岡空港事務所 施設運用管理 官(基盤施設 担当)	福岡空港測候 所	九州地方整備 局 博多港湾空港 工事事務所		
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh			7,312,344				35,580	7,347,924
			自家発	kwh								0
		ガス	都市ガス	m³								0
			プロパンガス	m³	1,645						22	1,667
		その他	灯油	ℓ								0
			ガソリン	ℓ								0
	軽油		ℓ				3,596				3,596	
	A重油		ℓ								0	
	車両用	灯油	ℓ								0	
		ガソリン	ℓ				6,429			1,492	7,921	
		軽油	ℓ				13,090				13,090	
		A重油	ℓ								0	
水使用	上水使用	水道水	m³	5,743						179	5,922	
		井戸水	m³								0	
	中水処理量	m³	5,004							5,004		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ								0	
		エチレングリコール	ℓ								0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t								0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	20.17							20.17	
		再生利用量	t	0							0	
		再生利用率	%	0							0	
	産業廃棄物	発生量	t								0	
		再生利用量	t								0	
		再生利用率	%								0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t			1.83		159.5			161.33	
		再生利用量	t			1.83		155.5			157.33	
		再生利用率	%			100		97.5			97.5	
車両	エコカー		台								0	
	低燃費・低排出ガス認定車		台							1	1	
	低騒音型者慮用		台								0	
	その他		台				20			1	21	
	合計		台				20			2	22	

平成20年度

種別	内訳		単位	官公庁							合計②		
				門司税関 福岡税関支署	福岡入国管理 局 福岡空港出張 所	動物検疫所 門司支所 福岡空港出張 所	門司植物防疫 所福岡支所 福岡空港出張 所	福岡検疫所 福岡空港 検疫支所	第七管区 海上保安本部 福岡航空基地	福岡空港警察 署			
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh	1,631,788	284,013	107,986	103,965	219,033	131,041	237,696	2,715,522	
			自家発電	kwh									0
		ガス	都市ガス	m³	2,748	10,139	2,771	132	8,128				23,918
			プロパンガス	m³							192	12	203
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ									0	
	A重油		ℓ							4,200		4,200	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ			359	570	530			11,390	12,849	
		軽油	ℓ									0	
		A重油	ℓ									0	
水使用	上水使用	水道水	m³	3,539	366	263	270	515	1,132	825	6,910		
		井戸水	m³									0	
	中水処理量	m³	2,870								2,870		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ									0	
		エチレングリコール	ℓ									0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t									0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	産業廃棄物	発生量	t			2.3				2.7		5	
		再生利用量	t			0				0		0	
		再生利用率	%			0				0		0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
車両	エコカー		台									0	
	低燃費・低排出ガス認定車		台			1			2			3	
	低騒音型者慮用		台									0	
	その他		台	9				1		5	6	21	
	合計		台	9		1		1		2	5	6	24

平成20年度

種別	内訳			単位	官公庁		航空会社				構内営業者	合計③	
					福岡県警察航空隊	福岡市消防航空隊	㈱日本航空インターナショナル	全日本空輸㈱(エア・ニッポン㈱)	スカイマーク㈱	西日本空輸㈱	(財)空港環境整備協会		
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	51,407	45,571	2,361,846	1,120,864		225,286	325,386	4,130,360	
			自家発	kwh									0
		ガス	都市ガス	m ³								431	431
			プロパンガス	m ³	77	68						115	260
		その他	灯油	ℓ		170						18	188
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ								183	183	
	A重油		ℓ									0	
	車両用	灯油	ℓ				1,423					1,423	
		ガソリン	ℓ	688	1,074	17,433	2,002	1,491	11,235	1,736		35,659	
		軽油	ℓ	212	797	258,458	110,691	19,921	828			390,907	
		A重油	ℓ									0	
	水使用	上水使用	水道水	m ³	278	310				364	641	1,593	
井戸水			m ³									0	
中水処理量			m ³								0		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ			31,300	60,000	3,150				94,450	
		エチレングリコール	ℓ									0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t									0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	産業廃棄物	発生量	t			34.34	32.32		4.51			71.17	
		再生利用量	t			0	0		0			0	
		再生利用率	%			0	0		0			0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
車両	エコカー			台					1		1		
	低燃費・低排出ガス認定車			台			2		7		9		
	低騒音型者慮用			台							0		
	その他			台	3	5	82	51	19	2	4	166	
	合計			台	3	5	84	51	19	10	4	176	

平成20年度

種別	内訳		単位	構内営業者					合計④	
				福岡空港ビルディング(株)	空港施設(株)大阪事業所	福岡給油施設(株)	(株)エージーピー	福岡インフライトケイタリング(株)		
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	53,752,004	97,664	578,064	1,810,456	125,514	56,363,702
			自家発	kwh						0
		ガス	都市ガス	m ³	505,500					505,500
			プロパンガス	m ³	118,790			35.7		118,826
		その他	灯油	ℓ			1,294	600		1,894
			ガソリン	ℓ						0
	軽油		ℓ						0	
	A重油		ℓ	464,923				11,582	476,505	
	車両用	灯油	ℓ						0	
		ガソリン	ℓ	851		10,506	4,205	7,539	23,101	
		軽油	ℓ			49,904	143,139	40,059	233,102	
		A重油	ℓ						0	
水使用	上水使用	水道水	m ³	181,016	2,443	3,262		730	187,451	
		井戸水	m ³	30,993					30,993	
	中水処理量	m ³	120,273					120,273		
融雪剤	防除雪水剤	プロピレングリコール	ℓ						0	
		エチレングリコール	ℓ						0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t						0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	2,598					2,598	
		再生利用量	t	703					703	
		再生利用率	%	27.1					27.1	
	産業廃棄物	発生量	t						0	
		再生利用量	t						0	
		再生利用率	%						0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t						0	
		再生利用量	t						0	
		再生利用率	%						0	
車両	エコカー		台						0	
	低燃費・低排出ガス認定車		台				4		4	
	低騒音型者慮用		台						0	
	その他		台	2		34	24	14	74	
	合計		台	2		34	28	14	78	

平成21年度

種別	内訳		単位	官公庁						合計①			
				福岡空港事務所 総務課	福岡空港事務所 環境・地域 振興課	福岡空港事務所 航空灯火・ 電気技術官	福岡空港事務所 施設運用管理 官(広域施設 担当)	福岡空港事務所 施設運用管理 官(基盤施設 担当)	福岡空港測候 所		九州地方整備 局 博多港湾空港 工事事務所		
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh			6,822,792				26,854	6,849,646	
			自家発	kwh								0	
		ガス	都市ガス	m ³									0
			プロパンガス	m ³							19		19
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ				3,919					3,919	
	A重油		ℓ									0	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ				7,067			259	1,508	8,834	
		軽油	ℓ				12,399					12,399	
		A重油	ℓ									0	
	水使用	上水使用	水道水	m ³	4,739						80	4,819	
井戸水			m ³								0		
中水処理量		m ³	3,930							3,930			
融雪剤	防除雪水剤	プロピレングリコール	ℓ								0		
		エチレングリコール	ℓ								0		
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t								0		
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t								0		
		再生利用量	t								0		
		再生利用率	%								0		
	産業廃棄物	発生量	t								0		
		再生利用量	t								0		
		再生利用率	%								0		
	建設廃棄物発生量	発生量	t			0.40		134				134.4	
		再生利用量	t			0.40		132				132.4	
		再生利用率	%			100		98.5				98.5	
車両	エコカー		台						1		1		
	低燃費・低排出ガス認定車		台						1	1	2		
	低騒音型者慮用		台								0		
	その他		台				20			1	21		
	合計		台				20		2	2	24		

平成21年度

種別	内訳		単位	官公庁							合計②		
				門司税関 福岡税関支署	福岡入国管理 局 福岡空港出張 所	動物検疫所 門司支所 福岡空港出張 所	門司植物防疫 所福岡支所 福岡空港出張 所	福岡検疫所 福岡空港 検疫支所	第七管区 海上保安本部 福岡航空基地	福岡空港警察 署			
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh	1,467,752	275,496	98,069	101,821	204,019	176,514	204,678	2,528,348	
			自家発	kwh									0
		ガス	都市ガス	m ³	37,477	9,177	2,395	89	6,362				55,500
			プロパンガス	m ³							248	6	254
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ									0	
	A重油		ℓ							4,400		4,400	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ			347	480	259	2,163	10,000		13,249	
		軽油	ℓ							810		810	
		A重油	ℓ									0	
水使用	上水使用	水道水	m ³	2,133	522	204	232	320	923	761	5,094		
		井戸水	m ³									0	
	中水処理量		m ³									0	
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ									0	
		エチレングリコール	ℓ									0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t									0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	産業廃棄物	発生量	t			1.7				1.39		3.09	
		再生利用量	t			0				0		0	
		再生利用率	%			0				0		0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
車両	エコカー		台							1	1		
	低燃費・低排出ガス認定車		台			1		1			2		
	低騒音型者慮用		台								0		
	その他		台	9			1			4	5	19	
	合計		台	9		1	1		1	4	6	22	

平成21年度

種別	内訳		単位	官公庁		航空会社				構内営業者	合計③		
				福岡県警察 航空隊	福岡市消防 航空隊	(株)日本航空 インター ナショナル	全日本空輸(株) (エア・ニッポ ン(株))	スカイマーク(株)	西日本空輸(株)	(財)空港環境 整備協会			
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	49,770	45,020	1,963,006	1,264,401	105	176,059	303,245	3,801,606	
			自家発電	kwh									0
		ガス	都市ガス	m ³								440	440
			プロパンガス	m ³	83	69						112	264
		その他	灯油	ℓ		126							126
			ガソリン	ℓ									0
			軽油	ℓ								78	78
	A重油		ℓ									0	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ	869	1,024	10,109	17,075	3,395	9,368	1,857		43,697	
		軽油	ℓ	400	498	236,414	432,348	20,182	1,223			691,065	
A重油		ℓ									0		
水使用	上水使用	水道水	m ³	280	494				287	634	1,695		
		井戸水	m ³								0		
	中水処理量	m ³									0		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ			29,200	23,552	960			53,712		
		エチレングリコール	ℓ								0		
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t								0		
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t								0		
		再生利用量	t								0		
		再生利用率	%								0		
	産業廃棄物	発生量	t			34.55	16.1		1.4		52.04		
		再生利用量	t			0	0		1.26		1.26		
		再生利用率	%			0	0		90.0		90.0		
	建設廃棄物発生量	発生量	t								0		
		再生利用量	t								0		
		再生利用率	%								0		
車両	エコカー		台						1		1		
	低燃費・低排出ガス認定車		台	1					7		8		
	低騒音型者専用		台								0		
	その他		台	2	5	79	53	19	1	4	163		
	合計		台	3	5	79	53	19	9	4	172		

平成21年度

種別	内訳		単位	構内営業者					合計④		
				福岡空港 ビルディング(株)	空港施設(株) 大阪事業所	福岡給油施設 (株)	(株)エージーピー	福岡インフラ トケイタリング(株)			
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	53,408,189	95,594	563,004	1,092,407	51,800	55,210,994	
			自家発	kwh						0	
		ガス	都市ガス	m ³	299,166						299,166
			プロパンガス	m ³	114,199			41			114,240
		その他	灯油	ℓ			1,313				1,313
			ガソリン	ℓ							0
			軽油	ℓ							0
	A重油		ℓ	416,462				11,850		428,312	
	車両用	灯油	ℓ							0	
		ガソリン	ℓ	4,161		10,583	7,013	5,500		27,257	
		軽油	ℓ			47,910	180,740	50,000		278,650	
		A重油	ℓ							0	
	水使用	上水使用	水道水	m ³	168,097	1,485	1,319		710	171,611	
井戸水			m ³	51,619					51,619		
中水処理量		m ³	142,557						142,557		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ						0		
		エチレングリコール	ℓ						0		
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t						0		
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	2,505						2,505	
		再生利用量	t	694						694	
		再生利用率	%	27.7						27.7	
	産業廃棄物	発生量	t							0	
		再生利用量	t							0	
		再生利用率	%							0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t							0	
		再生利用量	t							0	
		再生利用率	%							0	
車両	エコカー		台						0		
	低燃費・低排出ガス認定車		台				5		5		
	低騒音型者慮用		台						0		
	その他		台	4		37	20	24	85		
	合計		台	4		37	25	24	90		

平成22年度

種別	内訳		単位	官公庁						合計①			
				福岡空港事務所 総務課	福岡空港事務所 環境・地域 振興課	福岡空港事務所 航空灯火・ 電気技術官	福岡空港事務所 施設運用管理 官(広域施設 担当)	福岡空港事務所 施設運用管理 官(基盤施設 担当)	福岡空港測候 所		九州地方整備 局 博多港湾空港 工事事務所		
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh			6,895,992				28,581	6,924,573	
			自家発	kwh								0	
		ガス	都市ガス	m³									0
			プロパンガス	m³	1,500							26	1,526
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ				3,515					3,515	
	A重油		ℓ									0	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ				7,920		369	1,378		9,667	
		軽油	ℓ				12,240					12,240	
		A重油	ℓ									0	
水使用	上水使用	水道水	m³	4,738						101	4,839		
		井戸水	m³								0		
	中水処理量	m³	3,747								3,747		
融雪剤	防除雪水剤	プロピレングリコール	ℓ								0		
		エチレングリコール	ℓ								0		
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t								0		
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	13.27								13.27	
		再生利用量	t	0								0	
		再生利用率	%	0								0	
	産業廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t					75				75	
		再生利用量	t					73				73	
		再生利用率	%					97.3				97.3	
車両	エコカー		台						1		1		
	低燃費・低排出ガス認定車		台						1	1	2		
	低騒音型者慮用		台								0		
	その他		台				20			1	21		
	合計		台				20		2	2	24		

平成22年度

種別	内訳		単位	官公庁							合計②		
				門司税関 福岡税関支署	福岡入国管理 局 福岡空港出張 所	動物検疫所 門司支所 福岡空港出張 所	門司植物防疫 所福岡支所 福岡空港出張 所	福岡検疫所 福岡空港 検疫支所	第七管区 海上保安本部 福岡航空基地	福岡空港警察 署			
エネルギー使用 量	施設用	電力	売電	kwh	1,763,666	243,645	56,869	104,200	156,808	205,739	213,780	2,744,707	
			自家発電	kwh									0
		ガス	都市ガス	m ³	48,992	12,582	3,139	67	8,334				73,114
			プロパンガス	m ³							347	11	358
		その他	灯油	ℓ									0
			ガソリン	ℓ									0
	軽油		ℓ							8		8	
	A重油		ℓ							5,800		5,800	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ			720	450	279	1,990		11,190	14,629	
		軽油	ℓ						849			849	
		A重油	ℓ									0	
水使用	上水使用	水道水	m ³	2,689	629	245	178	433	1,185	728	6,087		
		井戸水	m ³							728	728		
	中水処理量	m ³									0		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ									0	
		エチレングリコール	ℓ									0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t									0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	産業廃棄物	発生量	t			2.4				3.2		5.6	
		再生利用量	t			0			0			0	
		再生利用率	%			0			0			0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
車両	エコカー		台							1	1		
	低燃費・低排出ガス認定車		台					1			1		
	低騒音型者慮用		台								0		
	その他		台	9			1		5	5	20		
	合計		台	9			1	1	5	6	22		

平成22年度

種別	内訳		単位	官公庁		航空会社				構内営業者	合計③		
				福岡県警察航空隊	福岡市消防航空隊	㈱日本航空インターナショナル	全日本空輸㈱(エア・ニッポン㈱)	スカイマーク㈱	西日本空輸㈱	(財)空港環境整備協会			
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	53,712	48,328	2,254,148	2,331,576	103,626	195,222	317,009	5,303,621	
			自家発電	kwh									0
		ガス	都市ガス	m³								305	305
			プロパンガス	m³	102	80						105	287
		その他	灯油	ℓ		216							216
			ガソリン	ℓ									0
			軽油	ℓ								112	112
	A重油		ℓ									0	
	車両用	灯油	ℓ									0	
		ガソリン	ℓ	890	999	13,035	19,377	2,809	11,218	676		49,004	
		軽油	ℓ	200	457	238,880	552,346	20,432	1,270			813,585	
		A重油	ℓ									0	
	水使用	上水使用	水道水	m³	263	290					302	547	1,402
井戸水			m³									0	
中水処理量		m³									0		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ			51,072	20,120	2,900				74,092	
		エチレングリコール	ℓ									0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t									0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
	産業廃棄物	発生量	t			29.7	16.51			1.71		47.92	
		再生利用量	t			0	0			1.71		1.71	
		再生利用率	%			0	0			100		100	
	建設廃棄物発生量	発生量	t									0	
		再生利用量	t									0	
		再生利用率	%									0	
車両	エコカー		台							1		1	
	低燃費・低排出ガス認定車		台	1						6		7	
	低騒音型者慮用		台									0	
	その他		台	2	5	78	45	24	2	2		158	
	合計		台	3	5	78	45	24	9	2		166	

平成22年度

種別	内訳		単位	構内営業者						合計④		
				福岡空港 ビルディング(株)	空港施設(株) 大阪事業所	福岡給油施設 (株)	(株)エージーピー	福岡インフラ トケイタリング(株)				
エネルギー使用量	施設用	電力	売電	kwh	52,508,708	94,752	550,422	1,064,517	113,378			54,331,777
			自家発	kwh								0
		ガス	都市ガス	m ³	336,588							336,588
			プロパンガス	m ³	112,445				42			112,487
		その他	灯油	ℓ			1,205					1,205
			ガソリン	ℓ								0
			軽油	ℓ								0
	A重油		ℓ	452,316					11,692		464,008	
	車両用	灯油	ℓ								0	
		ガソリン	ℓ	4,633		10,321	8,663	6,600			30,217	
		軽油	ℓ			50,860	216,168	62,500			329,528	
		A重油	ℓ								0	
	水使用	上水使用	水道水	m ³	154,055	1,265	1,574		710			157,604
井戸水			m ³	51,853							51,853	
中水処理量		m ³	152,910							152,910		
融雪剤	防除雪氷剤	プロピレングリコール	ℓ								0	
		エチレングリコール	ℓ								0	
	凍結防止剤	酢酸ナトリウム	t								0	
廃棄物量	一般廃棄物	発生量	t	2,573							2,573	
		再生利用量	t	720							720	
		再生利用率	%	28.0							28.0	
	産業廃棄物	発生量	t								0	
		再生利用量	t								0	
		再生利用率	%								0	
	建設廃棄物発生量	発生量	t								0	
		再生利用量	t								0	
		再生利用率	%								0	
車両	エコカー		台								0	
	低燃費・低排出ガス認定車		台				6				6	
	低騒音型者慮用		台								0	
	その他		台	4		38	25	24			91	
	合計		台	4		38	31	24			97	

福岡空港CO₂排出量算定(平成18年度)

取扱旅客数 18,123,731 人
発着回数 139,242 回
貨物取扱量 トン
スポット数 スポット(内オープンスポット 〇〇)
CO₂使用量 32,769,236 トン

CO ₂ 排出係数 原単位	電力	都市ガス	ガス(LPG)	ガソリン	軽油	灯油	A重油	熱※3
	kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂ /Nm ³	kg-CO ₂ /m ³	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /MJ
	0.375	2.08	6.51	2.32	2.58	2.49	2.71	0.057

係数は環境省地球環境局「温室効果ガス総排出量算定ガイドライン(平成19年3月)」及び掲載産業省資源エネルギー庁「標準発熱量の検討結果と改訂値について(平成19年5月)」の資料を参照。
電力及び熱の係数は、温室効果ガスを多量に排出する者(電気事業者等)の排出係数を使用することが出来る。

大分類	小分類	電力 kWh/年	都市ガス m ³ /年	ガス(LPG) m ³ /年	ガソリン ℓ/年	軽油 ℓ/年	灯油 ℓ/年	A重油 ℓ/年	熱※3 MJ/年	CO ₂ 排出量 kg-CO ₂ /年	備考
施設関連	官公庁	10,218,074	76,377	2,156		6,387		3,900		4,031,725	
	航空会社	4,000,779								1,500,292	
	構内営業者	56,526,454	660,595	124,037		100	34,101	1,015,000		26,214,759	
車両関連	GSE及びその他車両				73,946	329,615	200			1,022,459	
	計	70,745,307	736,972	126,193	73,946	336,102	34,301	1,018,900		-	
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂ /年)		26,529,490	1,532,902	821,517	171,555	867,143	85,409	2,761,219		32,769,236	

- ※1 車両は空港内で活動する車両
- ※2 航空機、バス、タクシー、及び自家用車における燃料消費は含まない
- ※3 熱を供給する事業者が使用する電力及びガス等の燃料が含まれていない場合は、空港に供給した熱量を対象とする
- ※4 共用飛行場は民間エリアのみとする

●エコエアポートの推進によるCO₂削減効果

項目	設備規模	使用時間 [h/年]	発電量 [kWh/年]	削減効果量 [kg-CO ₂]	備考
1 航空機用地上動力設備(GPU)	スポット数 -	-	-	-	
2 新エネルギーの(太陽光発電等)	kW -	-	-	-	
3 エコカー	台 1	-	-	-	
4 屋上緑化	m ² -	-	-	-	

福岡空港CO₂排出量算定(平成19年度)

取扱旅客数 17,826,082 人
発着回数 141,678 回
貨物取扱量 トン
スポット数 スポット(内オープンスポット 〇〇)
CO₂使用量 34,106,396 トン

CO ₂ 排出係数 原単位	電力	都市ガス	ガス(LPG)	ガソリン	軽油	灯油	A重油	熱※3
	kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂ /Nm ³	kg-CO ₂ /m ³	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /MJ
	0.387	2.08	6.51	2.32	2.58	2.49	2.71	0.057

係数は環境省地球環境局「温室効果ガス総排出量算定ガイドライン(平成19年3月)」及び掲載産業省資源エネルギー庁「標準発熱量の検討結果と改訂値について(平成19年5月)」の資料を参照。
電力及び熱の係数は、温室効果ガスを多量に排出する者(電気事業者等)の排出係数を使用することが出来る。

大分類	小分類	電力 kWh/年	都市ガス m ³ /年	ガス(LPG) m ³ /年	ガソリン ℓ/年	軽油 ℓ/年	灯油 ℓ/年	A重油 ℓ/年	熱※3 MJ/年	CO ₂ 排出量 kg-CO ₂ /年	備考
施設関連	官公庁	10,750,619	31,164	2,273		5,926	265	4,800		4,269,064	
	航空会社	3,940,941								1,525,144	
	構内営業者	56,378,533	638,601	119,883		60	28,000	921,900		26,495,444	
車両関連	GSE及びその他車両				74,839	636,674	200			1,816,743	
	計	71,070,093	669,765	122,156	74,839	642,660	28,465	926,700		-	
	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂ /年)	27,504,126	1,393,111	795,235	173,626	1,658,063	70,878	2,511,357		34,106,396	

- ※1 車両は空港内で活動する車両
- ※2 航空機、バス、タクシー、及び自家用車における燃料消費は含まない
- ※3 熱を供給する事業者が使用する電力及びガス等の燃料が含まれていない場合は、空港に供給した熱量を対象とする
- ※4 共用飛行場は民間エリアのみとする

●エコエアポートの推進によるCO₂削減効果

項目	設備規模	使用時間 [h/年]	発電量 [kWh/年]	削減効果量 [kg-CO ₂]	備考
1 航空機用地上動力設備(GPU)	スポット数	-	-	-	
2 新エネルギーの(太陽光発電等)	kW	-	-	-	
3 エコカー	台	1	-	-	
4 屋上緑化	m ²	-	-	-	

福岡空港CO₂排出量算定(平成20年度)

取扱旅客数 16,817,358 人
 発着回数 133,896 回
 貨物取扱量 トン
 スポット数 スポット(内オープンスポット 〇〇)
 CO₂使用量 31,427,427 トン

CO ₂ 排出係数 原単位	電力 kg-CO ₂ /kwh	都市ガス kg-CO ₂ /Nm ³	ガス(LPG) kg-CO ₂ /m ³	ガソリン kg-CO ₂ /ℓ	軽油 kg-CO ₂ /ℓ	灯油 kg-CO ₂ /ℓ	A重油 kg-CO ₂ /ℓ	熱※3 kg-CO ₂ /MJ
	0.374	2.08	6.51	2.32	2.58	2.49	2.71	0.057

係数は環境省地球環境局「温室効果ガス総排出量算定ガイドライン(平成19年3月)」及び掲載産業省資源エネルギー庁「標準発熱量の検討結果と改訂値について(平成19年5月)」の資料を参照。
 電力及び熱の係数は、温室効果ガスを多量に排出する者(電気事業者等)の排出係数を使用することが出来る。

大分類	小分類	電力 kWh/年	都市ガス m ³ /年	ガス(LPG) m ³ /年	ガソリン ℓ/年	軽油 ℓ/年	灯油 ℓ/年	A重油 ℓ/年	熱※3 MJ/年	CO ₂ 排出量 kg-CO ₂ /年	備考
施設関連	官公庁	10,160,424	23,918	2,015		3,596	170	4,200		3,883,947	
	航空会社	3,707,996								1,386,791	
	構内営業者	56,689,088	505,931	118,941		183	1,912	476,505		24,324,922	
車両関連	GSE及びその他車両				79,530	637,099	1,423			1,831,768	
計		70,557,508	529,849	120,956	79,530	640,878	3,505	480,705		-	
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂ /年)		26,388,508	1,102,086	787,422	184,509	1,653,464	8,727	1,302,711		31,427,427	

- ※1 車両は空港内で活動する車両
- ※2 航空機、バス、タクシー、及び自家用車における燃料消費は含まない
- ※3 熱を供給する事業者が使用する電力及びガス等の燃料が含まれていない場合は、空港に供給した熱量を対象とする
- ※4 共用飛行場は民間エリアのみとする

●エコエアポートの推進によるCO₂削減効果

項目	設備規模	使用時間 [h/年]	発電量 [kWh/年]	削減効果量 [kg-CO ₂]	備考
1 航空機用地上動力設備(GPU)	スポット数	-	-	-	
2 新エネルギーの(太陽光発電等)	kW	-	-	-	
3 エコカー	台	1	-	-	
4 屋上緑化	m ²	-	-	-	

福岡空港CO₂排出量算定(平成21年度)

取扱旅客数 16,026,445 人
 発着回数 136,736 回
 貨物取扱量 トン
 スポット数 スポット(内オープンスポット 〇〇)
 CO₂使用量 30,660,286 トン

CO ₂ 排出係数 原単位	電力	都市ガス	ガス(LPG)	ガソリン	軽油	灯油	A重油	熱※3
	kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂ /Nm ³	kg-CO ₂ /m ³	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /MJ
	0.369	2.08	6.51	2.32	2.58	2.49	2.71	0.057

係数は環境省地球環境局「温室効果ガス総排出量算定ガイドライン(平成19年3月)」及び掲載産業省資源エネルギー庁「標準発熱量の検討結果と改訂値について(平成19年5月)」の資料を参照。
 電力及び熱の係数は、温室効果ガスを多量に排出する者(電気事業者等)の排出係数を使用することが出来る。

大分類	小分類	電力 kWh/年	都市ガス m ³ /年	ガス(LPG) m ³ /年	ガソリン ℓ/年	軽油 ℓ/年	灯油 ℓ/年	A重油 ℓ/年	熱※3 MJ/年	CO ₂ 排出量 kg-CO ₂ /年	備考
施設関連	官公庁	9,472,784	55,500	425		3,919	126	4,400		3,636,012	
	航空会社	3,403,571								1,255,918	
	構内営業者	55,514,239	299,606	114,353		78	1,313	428,312		23,016,566	
車両関連	GSE及びその他車両				93,037	982,924				2,751,790	
	計	68,390,594	355,106	114,777	93,037	986,921	1,439	432,712		-	
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂ /年)		25,236,129	738,620	747,201	215,846	2,546,256	3,583	1,172,650		30,660,286	

- ※1 車両は空港内で活動する車両
- ※2 航空機、バス、タクシー、及び自家用車における燃料消費は含まない
- ※3 熱を供給する事業者が使用する電力及びガス等の燃料が含まれていない場合は、空港に供給した熱量を対象とする
- ※4 共用飛行場は民間エリアのみとする

●エコエアポートの推進によるCO₂削減効果

項目	設備規模	使用時間 [h/年]	発電量 [kWh/年]	削減効果量 [kg-CO ₂]	備考
1 航空機用地上動力設備(GPU)	スポット数	-	-	-	
2 新エネルギーの(太陽光発電等)	kW	-	-	-	
3 エコカー	台	3	-	-	
4 屋上緑化	m ²	-	-	-	

福岡空港CO₂排出量算定(平成22年度)

取扱旅客数 15,953,656 人
発着回数 137,154 回
貨物取扱量 トン
スポット数 スポット(内オープンスポット 〇〇)
CO₂使用量 32,790,793 トン

CO ₂ 排出係数 原単位	電力	都市ガス	ガス(LPG)	ガソリン	軽油	灯油	A重油	熱※3
	kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂ /Nm ³	kg-CO ₂ /m ³	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂ /MJ
	0.385	2.08	6.51	2.32	2.58	2.49	2.71	0.057

係数は環境省地球環境局「温室効果ガス総排出量算定ガイドライン(平成19年3月)」及び掲載産業省資源エネルギー庁「標準発熱量の検討結果と改訂値について(平成19年5月)」の資料を参照。
電力及び熱の係数は、温室効果ガスを多量に排出する者(電気事業者等)の排出係数を使用することが出来る。

大分類	小分類	電力 kWh/年	都市ガス m ³ /年	ガス(LPG) m ³ /年	ガソリン ℓ/年	軽油 ℓ/年	灯油 ℓ/年	A重油 ℓ/年	熱※3 MJ/年	CO ₂ 排出量 kg-CO ₂ /年	備 考
施設関連	官公庁	9,771,320	73,114	2,066		3,523	216	5,800		3,952,829	
	航空会社	4,884,572								1,880,560	
	構内営業者	54,648,786	336,893	112,592		112	1,205	464,008		23,734,244	
車両関連	GSE及びその他車両				103,517	1,156,202				3,223,160	
	計	69,304,678	410,007	114,658	103,517	1,159,837	1,421	469,808		-	
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂ /年)		26,682,301	852,815	746,421	240,159	2,992,379	3,538	1,273,180		32,790,793	

- ※1 車両は空港内で活動する車両
- ※2 航空機、バス、タクシー、及び自家用車における燃料消費は含まない
- ※3 熱を供給する事業者が使用する電力及びガス等の燃料が含まれていない場合は、空港に供給した熱量を対象とする
- ※4 共用飛行場は民間エリアのみとする

●エコエアポートの推進によるCO₂削減効果

項 目	設備規模	使用時間 [h/年]	発電量 [kWh/年]	削減効果量 [kg-CO ₂]	備 考
1 航空機用地上動力設備(GPU)	スポット数	-	-	-	
2 新エネルギーの(太陽光発電等)	kW	-	-	-	
3 エコカー	台	3	-	-	
4 屋上緑化	m ²	-	-	-	